

原動機_第4章_1節_自動車の発達と社会 ルーブリック

年 組 番 名 前

学習のねらい・目標		1 自動車が社会に、社会が自動車に及ぼす影響やその対策を理解し、自動車と社会の望ましい関係性について考える。 2 自動車が社会に及ぼす影響についての話し合いを通して、様々な視点からの意見や考えをまとめ発表する。 3 自動車の発達と社会や環境への関係性理解から、技術の発展、応用する考えを高める。 4 調査や発表を通して、「調査力」「思考力」「表現力」「聞き取る力」などを高める。					
学習評価 の観点	評価基準 評価規準	目 標	A すぐれている	B よ い	C ふつう	D もう少し	評価 理由
知識	自動車と社会の間にある問題について学習する目的を理解し、関連分野の基礎知識を身に付けている。	・自動車と社会の関係性を調査する。	・調査した情報を、工学的な視点で整理し、他者に分かりやすく説明している。	・複数の視点で調査した情報を周囲と共有しながら、知識を深めている。	・インターネット等で簡易的に調べた内容のみで知識を得ている。	・興味を示さず、調査を行っていない。知識を得ていない。	
技術		・自動車と社会の関係性を探求し、知識を深める。	・工学的な視点に加え、自己の視点からも考えている。そして、新たな解決法を提案できる。	・複数の視点からの詳しい知識を身につけており、他者に説明できる。	・一つの視点で得た知識で考えをまとめている。	・知ろうとする意識や意欲が乏しく、知識を深められていない。	
思考 判断 表現	自動車と社会の関係性について、安全性や環境、法律など複数の視点から考え、自動車と社会のあるべき姿を表現できる。	・自動車と社会の関係性の把握を通し、思考力、技術力、表現力を高める。	・工学的な視点に加え、自己の視点からもまとめ、あるべき姿を発表できる。また、身近な事例との関連性にも気づいている。	・複数の視点から得た知識を整理して、あるべき姿を発表できる。	・一つの視点で得た知識であるべき姿を表現している。	・興味を示さず、表現できていない。	
主体的に 学習に 取り組む 態度	主体的かつ協力的に学習を進めることができ、自動車と社会についての学習が必要であることを理解できる。	・発表内容をまとめるための話し合いに参加している。 ・自己の考えをまとめる。	・自己の意見発表に加え、他者の発表や質問の調整など、グループの中心的存在であり、話し合いのまとめなどにも尽力している。 ・工学的な視点で自己の考えまとめることができ、他者に分かりやすくアドバイスできる。	・自己の意見を発表し、他者へ質問するなど積極的に話し合いに参加している。 ・自主的に、自己の考えをまとめ、他者にアドバイスできる。	・話し合いに参加し、他者の意見を聞き、自己の考えも話すことができる。 ・周囲と協力しながら考えをまとめることができる。	・話し合いには消極的で他者の意見を聞くことができていない。 ・まとめが不完全である。	
学習を振り返って							